

平成28年度決算概要

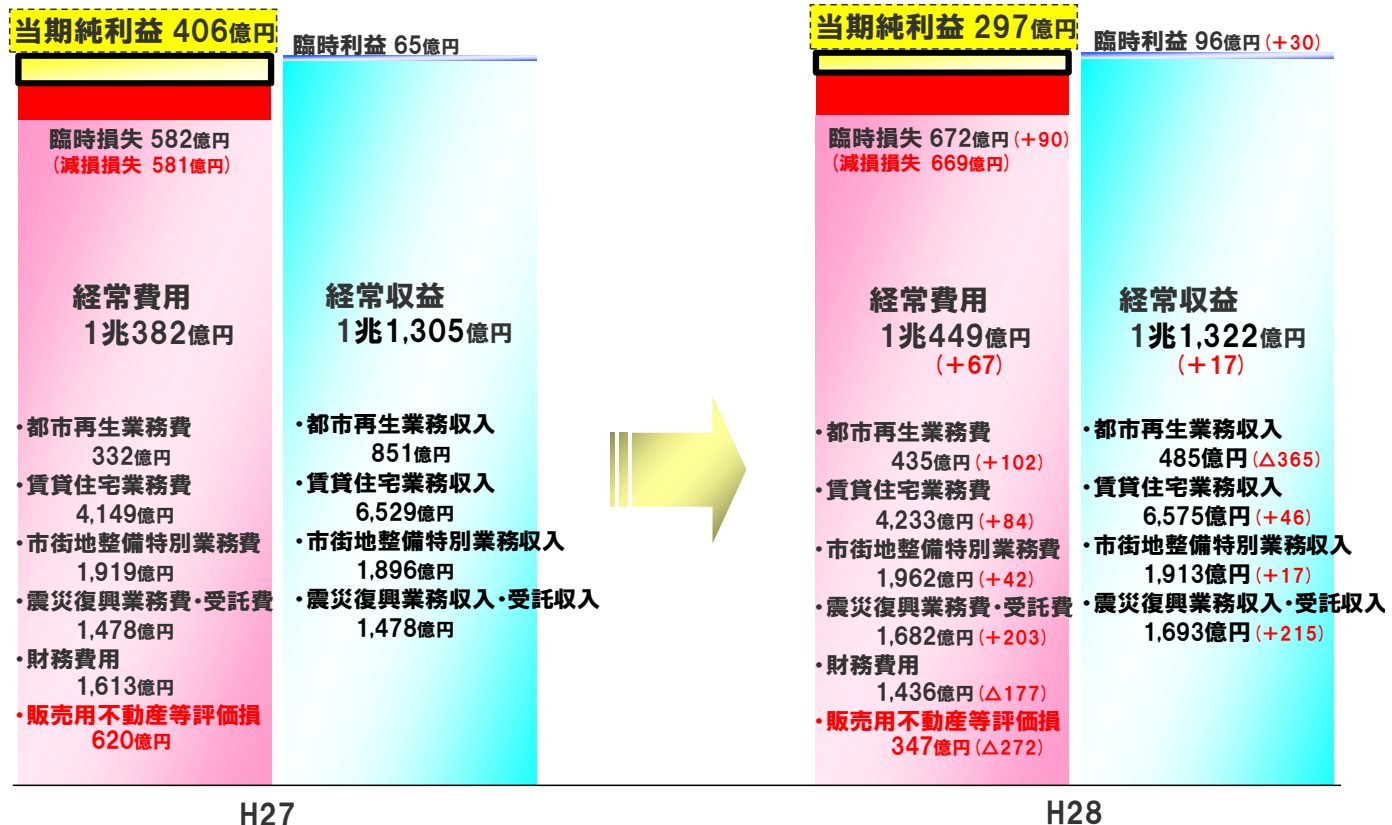
—— 街に、ルネッサンス ——



UR都市機構

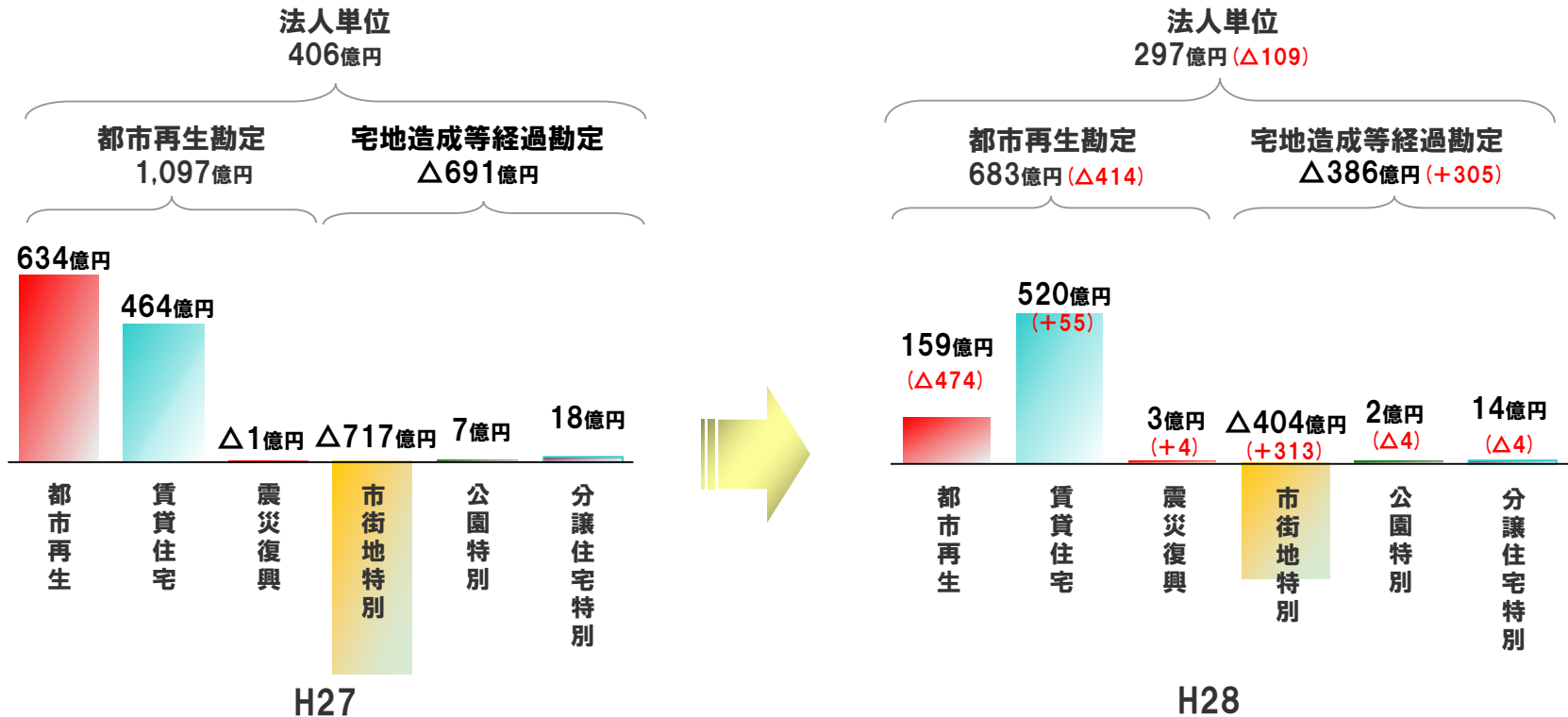
(1) 法人全体

平成28年度は、経常収益を1兆1,322億円(対前年度+17億円)、経常利益を873億円(対前年度△49億円)計上。臨時損失を672億円計上した結果、**297億円の当期純利益**を計上。



(※)単位未満切捨て

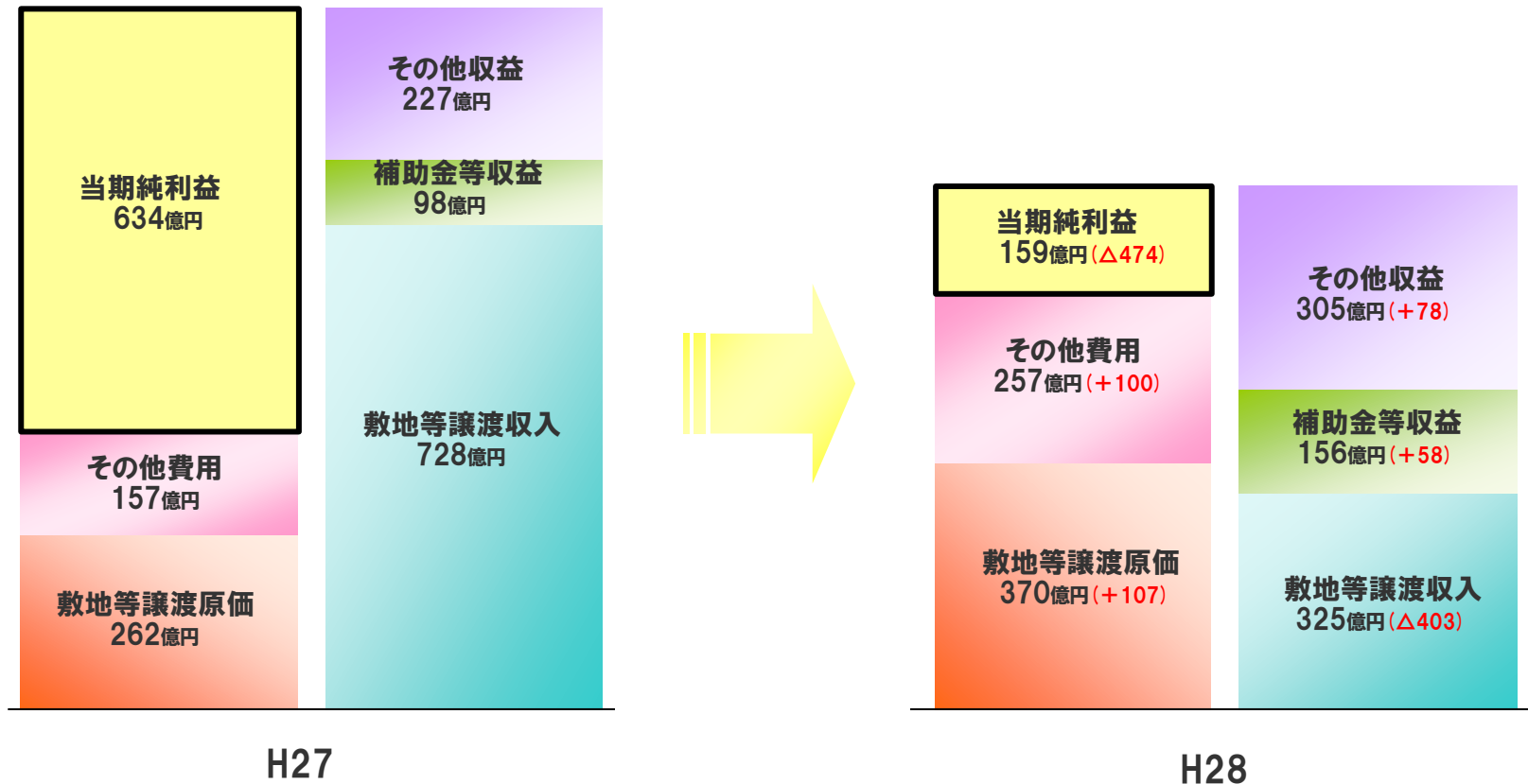
(2)セグメント別



(※) 単位未満切捨て

(3)都市再生

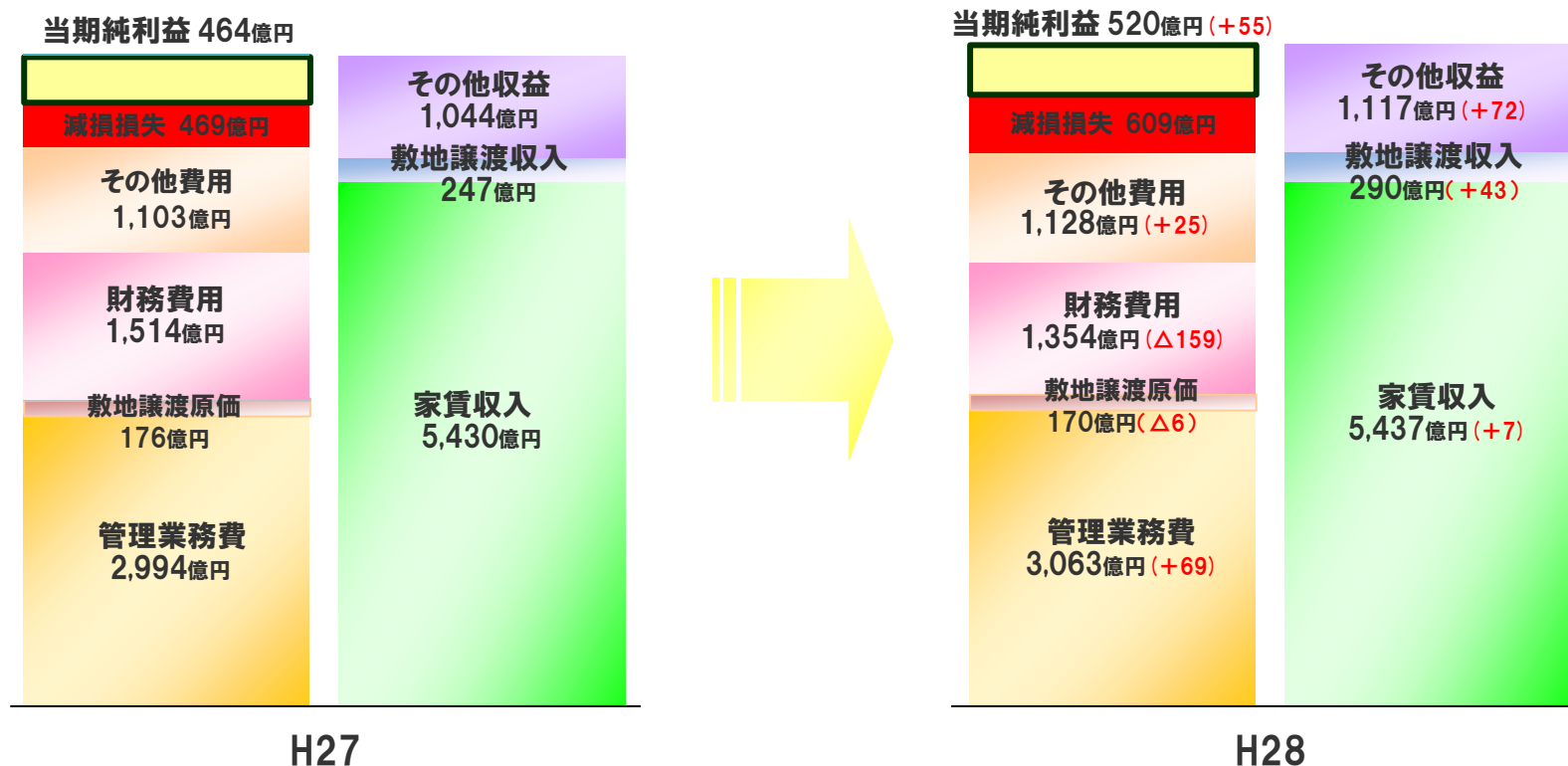
都市再生セグメントは、敷地等譲渡収入を325億円計上。前年度に比べ、大型譲渡案件は減少したものの、敷地等譲渡を着実に進めた結果、**159億円の当期純利益**を計上。



(※)単位未満切捨て

(4) 賃貸住宅

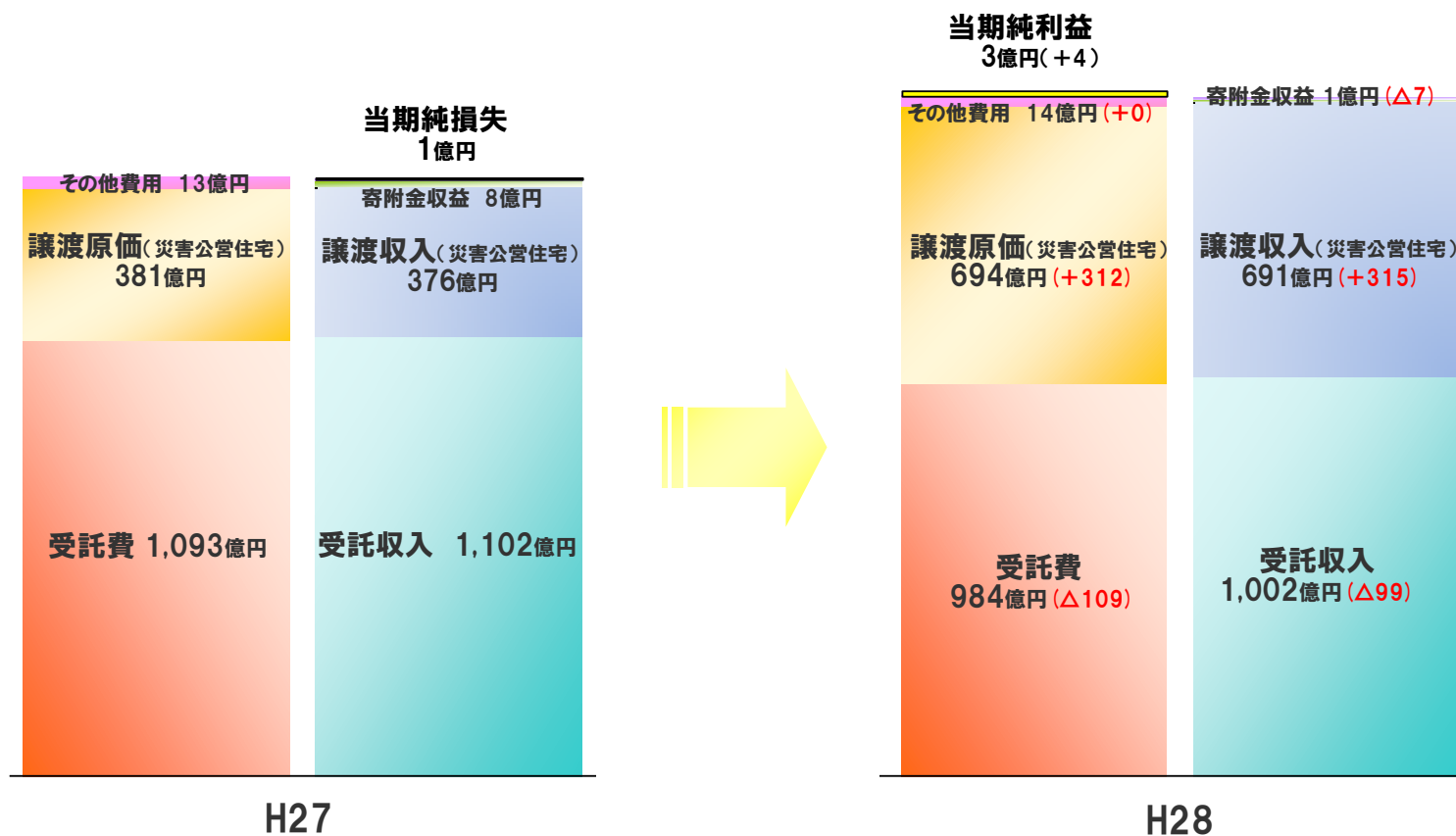
賃貸住宅セグメントは、営業活動の強化に努めたことにより、家賃収入は前年度から7億円の増となる5,437億円を計上。団地価値向上のため、計画修繕の前倒し等により管理業務費が増加し、ストック再生・再編の推進に伴う減損損失を計上した結果、**520億円の当期純利益**を計上。



(※)単位未満切捨て

(5) 震災復興

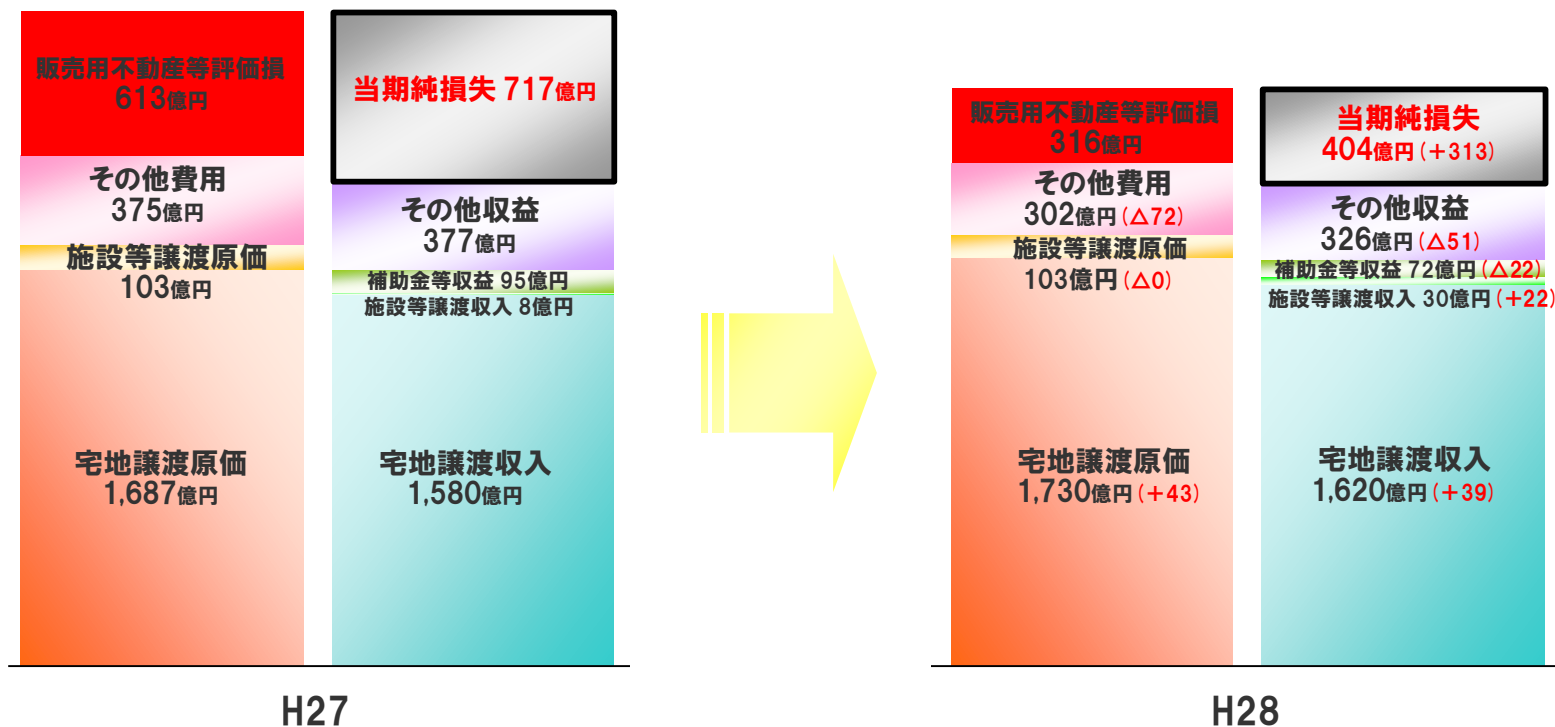
震災復興セグメントは、復興事業を確実に推進するため現地体制を強化。災害公営住宅の引渡や復興市街地整備の進捗により、住宅譲渡収入と受託収入を合わせて1,693億円計上した結果、**3億円の当期純利益**を計上。



(※)単位未満切捨て

(6)市街地特別

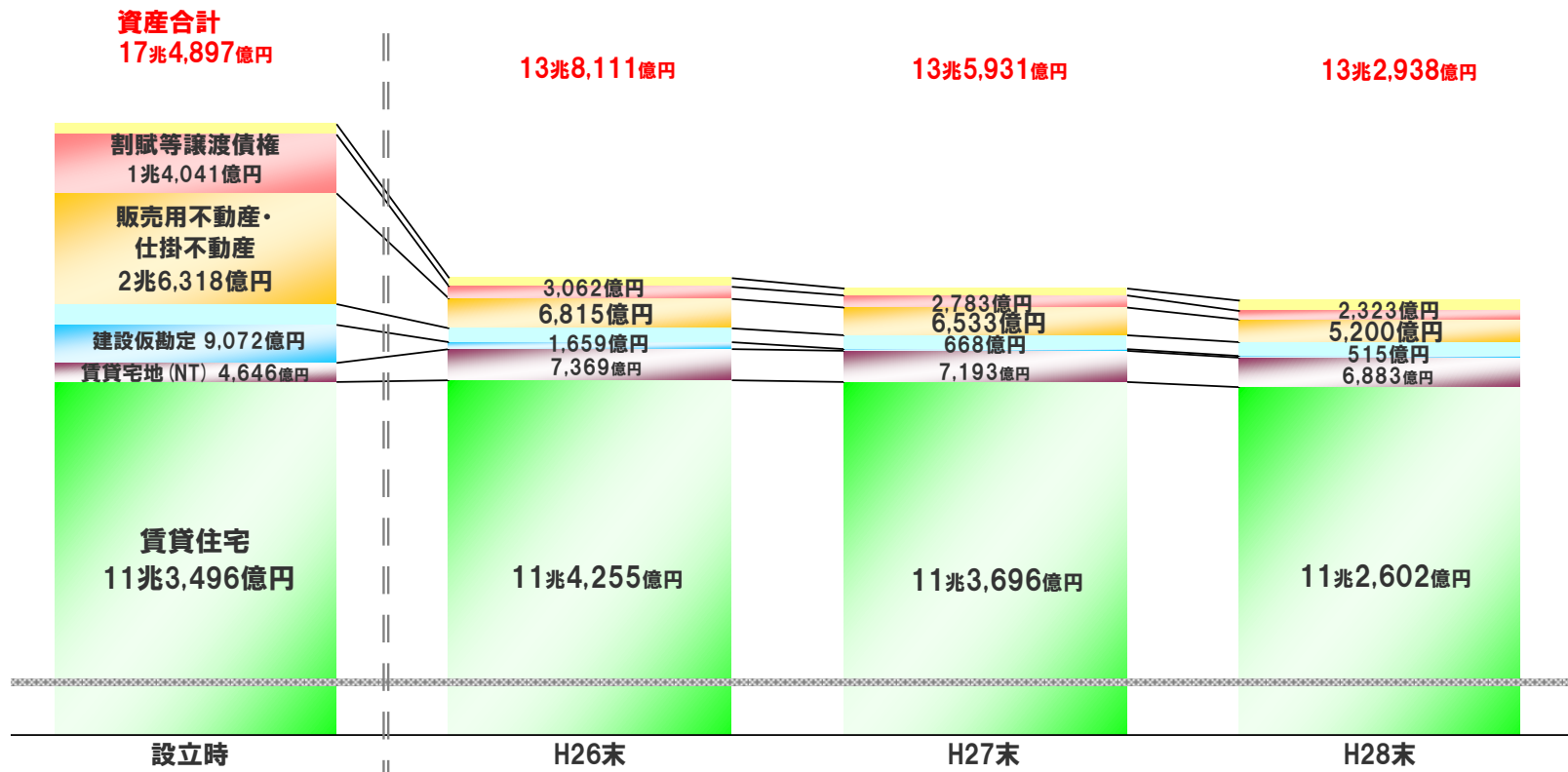
市街地特別セグメントは、宅地の供給・処分完了に向けて販売活動の強化や賃貸宅地資産の圧縮に努めたことにより、宅地譲渡収入を1,620億円計上。販売用不動産等評価損を316億円計上した結果、**404億円の当期純損失**を計上。



(※)単位未満切捨て

(1) 資産の状況

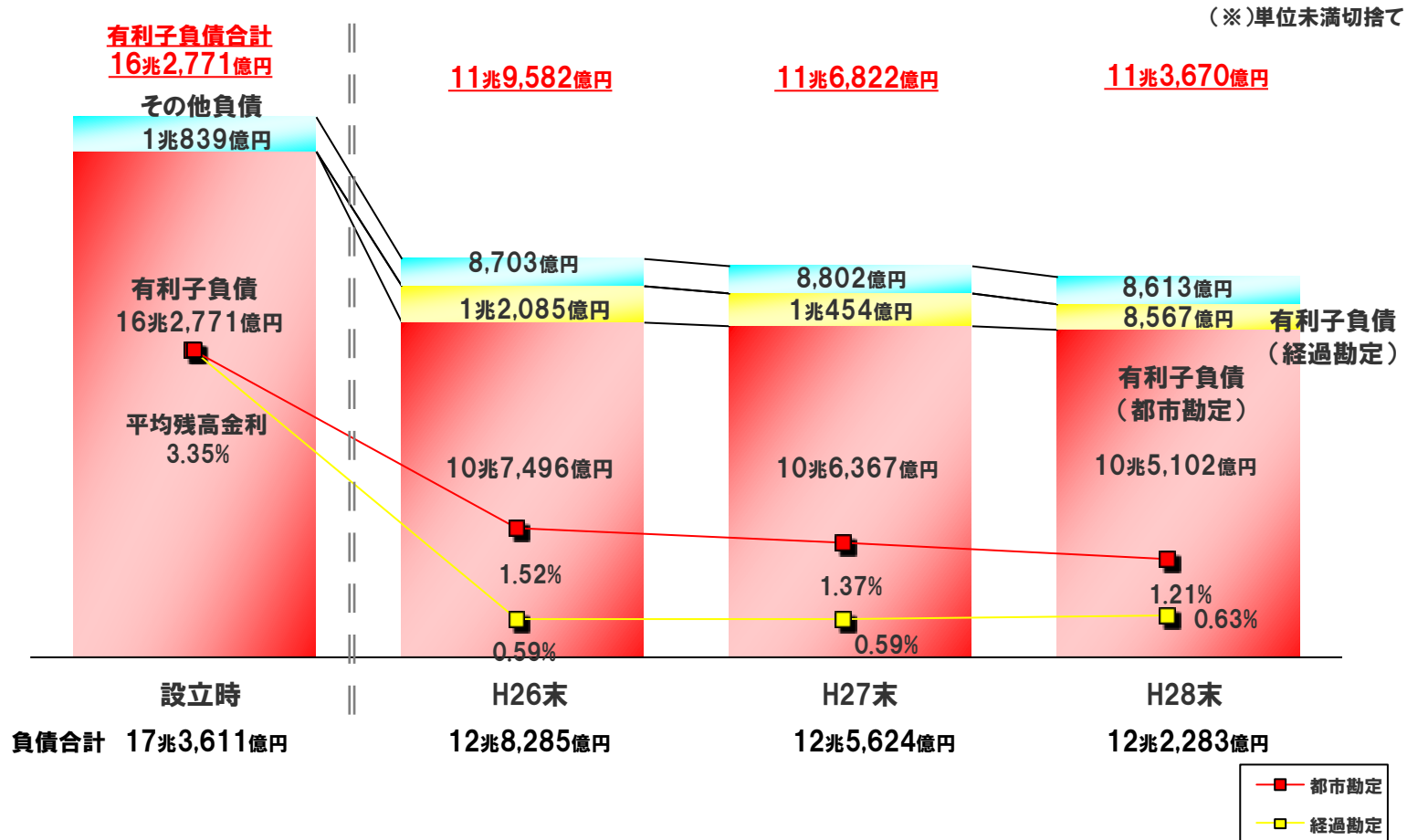
総資産は、販売用不動産の譲渡等により、前年度末に比べ約3,000億円減少し、**約13.2兆円**。



(※)単位未満切捨て

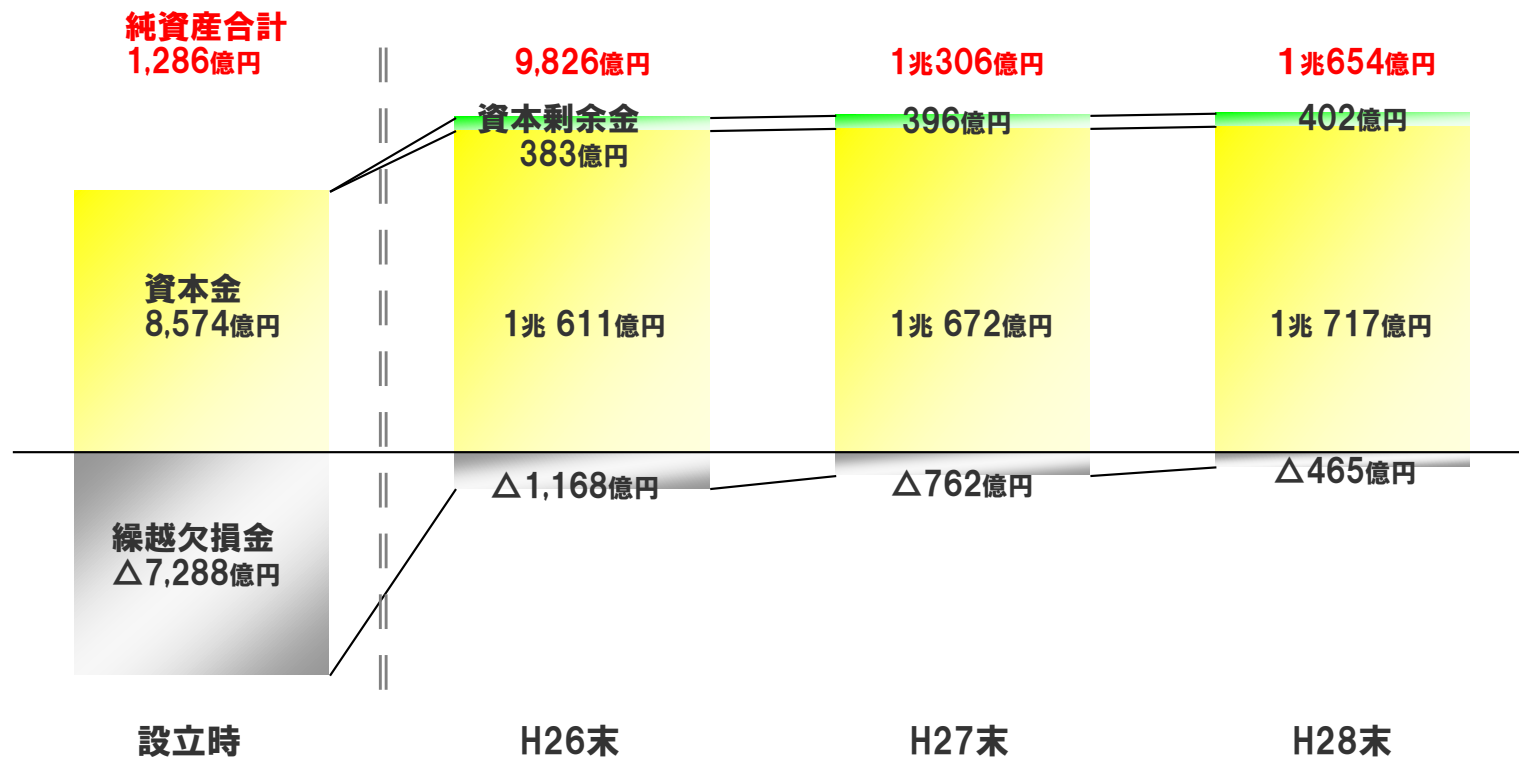
(2)負債の状況

有利子負債は、当年度においても着実に削減を進め、前年度末に比べ約3,200億円減少し、**約11.3兆円**。



(3) 純資産の状況

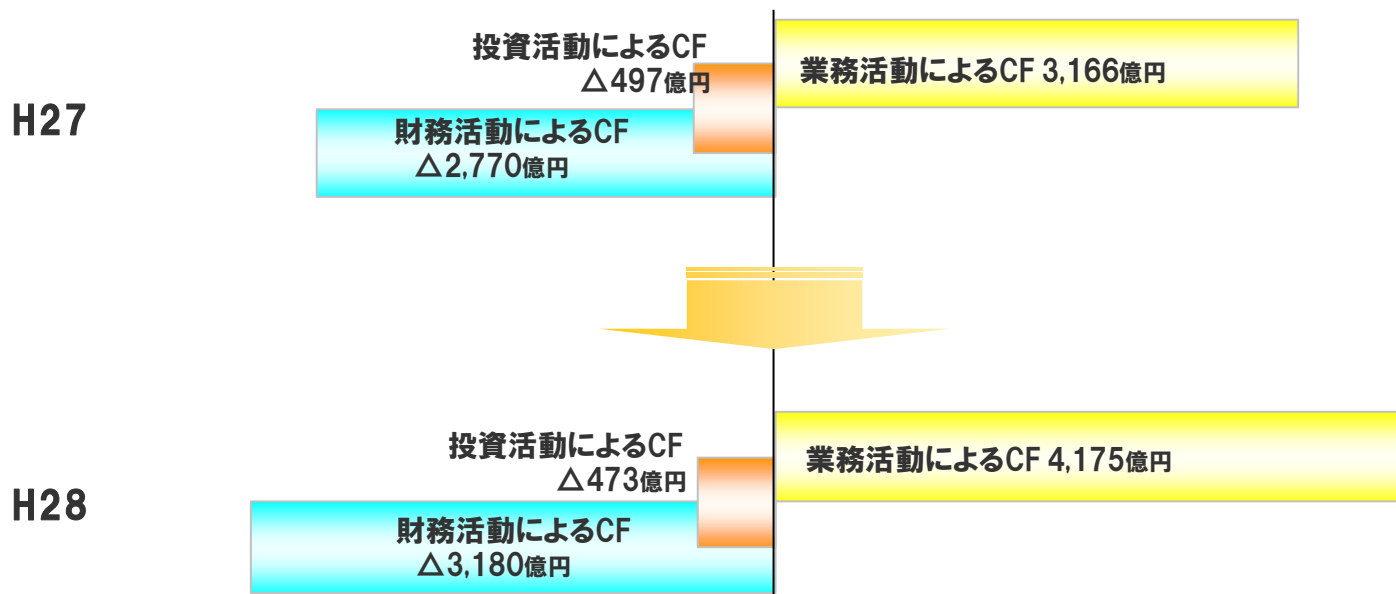
繰越欠損金は、当期純利益を297億円計上した結果、機構設立時から約6,800億円の削減となる**465億円**。



(※)単位未満切捨て

(4) キャッシュ・フローの状況

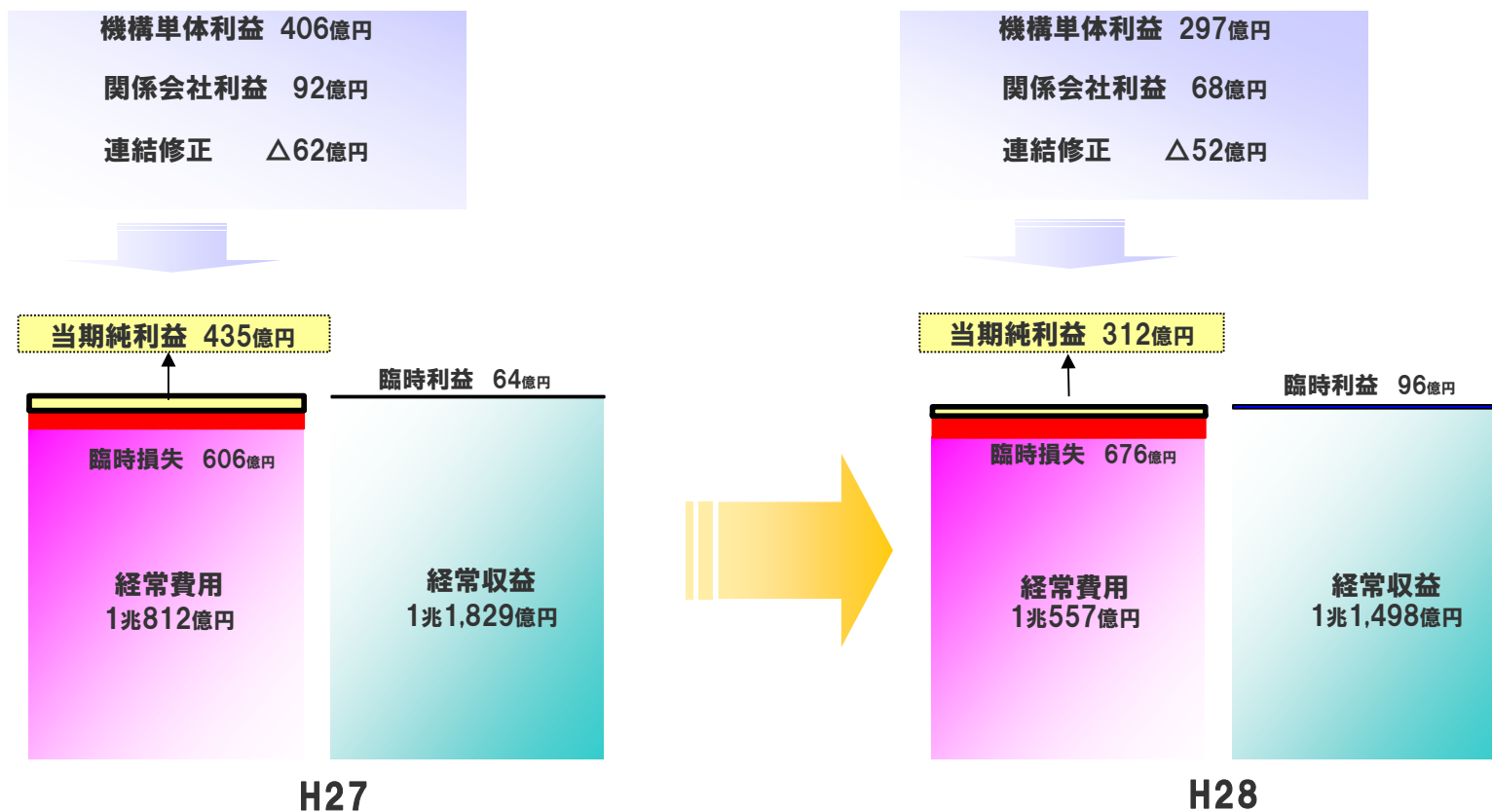
業務活動によるキャッシュ・フローは、家賃収入や敷地譲渡収入等を確保し、また、前年度と比較して事業費の支出が減少した結果、約4,100億円を計上し、有利子負債の削減に寄与。



(※)単位未満切捨て

3 連結財務諸表（損益）

特定関連会社(3社)及び関連会社(13社)の計16社について、全部又は持分法連結を行った結果、**連結当期純利益は312億円**。



(※)単位未満切捨て